

令和2年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1-2 「中学生チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

1 中学生チャレンジテスト・中学生チャレンジテストplus

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
1 年	学校	38	56.0	52.8	51.2	63.4	61.8	11.8	4.5	7.0	3.4	2.6
	大阪市	—	55.1	56.2	53.3	65.6	62.7	12.4	4.5	8.0	3.0	3.1
	1月13日 大阪府	—	56.1	—	54.0	—	63.8	12.7	—	8.7	—	3.3
2 年	学校	38	49.0	43.2	41.9	43.4	38.8	12.1	10.5	12.9	8.2	6.2
	大阪市	—	57.1	55.2	49.3	49.8	51.7	10.6	5.5	9.4	5.4	4.8
	1月13日 大阪府	—	58.3	54.5	49.4	49.5	52.0	10.1	5.8	10.0	5.8	4.8

※ 1年生の社会・理科については、「中学生チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は 粒子 領域を選択

※ 2年生の社会は A 問題を選択

結果の概要

【2年生】

全教科で府・市の平均正答率を下回った。特に数・英は10ポイント以上下回っている。平均無答率も全教科で府・市平均を上回っている。国語では「読む」「書く」に課題がある。数学では特に「図形」、英語では特に「書く」の課題が大きい。社会は全体的に知識の定着ができていない。理科は「観察・実験の技能」に課題がみられる。

【1年生】

国語については市平均を上回り、府平均とほぼ並んだ。分野・観点の分布も府・市と同じ傾向で、特に課題となるものはみられない。数学については府・市平均を下回り、「数量・図形」にやや課題がある。英語についても府・市平均を下回り、「書く」の課題がみられる。国・数・英の平均無答率は府・市平均よりも低かった。社会・理科はともに市平均を下回った。社会では「地理」分野に課題がみられ、理科では知識理解以外の観点に課題がある。

成果と今後取り組むべき課題

2年生については、リーディングスキルテストの結果からも「読解力」に課題があり、授業の中でどのように「読み解くか」を意識させる。また数学の図形など抽象的なものを理解する力を育てる。学習意欲は低くはないが、粘り強く問題を解こうとする意識を高めていく必要がある。

1年生については、2年生同様に図形の課題を克服する取り組みをおこなう。また学習意欲は高く粘り強く問題を解こうとする姿勢がみられるので、放課後や家庭での自主学習につなげて、定着を図っていく。